

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34105	情報サービス演習 I Reference Service I : Information Search	百合草 雅士	専門	1	選択	1・2 前期
科目の概要						
現代は、ひとたびインターネットに接続すれば、一生涯かけても処理できないほどの大量の情報にアクセスできる時代です。そのおかげで、従来は解決に相当な時間を要した問題も、瞬時に解決できることも多々あり、時代のスピードがどんどん加速しています。本授業では、必要としている情報へ迅速にたどり着けるだけでなく、活用し発信するために必要な情報サービスの知識や技術を身に付けます。						
学修内容			到達目標			
① コンピュータ・インターネットの基本を理解する。 ② 情報検索の仕組み・使い方を理解する。 ③ 情報サービスの使い方を理解する。 ④ 最新の情報技術について理解する。 ⑤ 個人情報への扱い方やセキュリティについて理解する。			① コンピュータ・インターネットの基本を説明できる。 ② 情報検索を理解し、操作することができる。 ③ 情報サービスを活用することができる。 ④ 最新の情報技術を知り、応用することができる。 ⑤ 個人情報や権利を意識して情報を扱うことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	パソコン操作や演習で周りに困っている人がいたら自分からサポートすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	レポートを期限内に提出するために、必要な手順を考えて前倒しで進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	自分の意見に捉われることなく、集めた情報で客観的に課題を見つけることができる。				
	計画力					
	創造力	自分の今の知識に制限されることなく、多面的に演習の答えを導くことができる。				
チームで働く力	発信力	情報サービスを利用して収集した情報を、説得力のある文章に組み立てることができる。				
	傾聴力	講義の内容を理解し活用できる形でノートにまとめることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	聞かるときは聞き、演習するときには必要な情報を交換しながら授業に参加できる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 特定のテキストは使用しません。授業内容に沿った講義ノートを配布します。 参考文献: 参考図書は授業内で適宜紹介します。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 情報サービス論 資格との関連: 図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
毎回、授業前に配布する講義ノートに概要やポイントをまとめていきます。小テストやレポートを作る基礎知識はそこから引き出せるように整理していきましょう。			講義ノートは Word のファイルで配布します。授業内の演習もインターネットを使います。コンピュータの初歩的な操作やタイピングは積極的に身に付けてください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	40	①	✓	1回～12回までの授業の内容で小テストを行う。 穴埋めや文章作成、検索実技などさまざまな角度で出題する。 ただ知識の習得を確認するだけでなく、応用できるかを判定する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	50	①	✓	テーマを出題して、それについて情報を集め、自分の見解をまとめる能力を評価する。 講義の中にそのままの答えがない問題について、情報サービスを活用していかにか自分の見解を説得力のある説明ができるかを判定する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) ・授業内でのパソコンの操作や演習において、周りに困っている人がいたらサポートすることができる。 (実行力) ・レポートや演習において制限時間を逆算して回答を出すことができる。 (課題発見力) ・集めた情報から客観的に課題、そして回答を導き出すことができる。 (創造力) ・授業で得た知識を発展させて次の演習の回答を出すことができる。 (発信力) ・自分の回答を正確に伝える文章にまとめることができる。 (傾聴力) ・配布する講義ノートを埋めながら話を聞くことができる。 (規律性) ・30分を超える遅刻や授業に関係のない私語については減点対象とする
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
小テストにおいて授業内の説明と違った角度からの設問にも正確な回答を出すことができる。 レポートにおいて自分の考えを客観的なデータを用い、説得力のある文章に仕上げるができる。 K(秀)は小テスト・レポートにおいて、授業の内容を応用して自分で考えた回答を出すことができる。	小テストにおいて授業内の演習で行ったレベルの問題について正確な回答を出すことができる。 レポートにおいて事前に定めた採点基準を満たすまとまった文章を仕上げるができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	現在、情報の世界でどんなことが起きているかを学ぶ。	講義	情報の世界で起こっていることを簡単に説明できる。	(復習) 情報の世界の現状を復習し、自分の認識を合わせる。	60	傾聴力 規律性
2週 /	情報サービスの変遷と種類について学ぶ。	講義・演習	情報サービスの種類を説明でき、使うことができる。	(復習) 情報サービスの種類と使い方を復習する	90	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	インターネット検索について、仕組みと使い方を学ぶ。	講義・演習	インターネット検索の特殊な操作で活用できる。	(復習) インターネット検索の操作を復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
4週 /	図書検索について、仕組みと使い方を学ぶ。	講義・演習	図書検索の仕組みを説明できる。	(復習) 図書検索の仕組みと使い方を復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
5週 /	コンピュータはどのように考えて、検索をするのか学ぶ。	講義・演習	コンピュータの代表的な動きを説明できる。	(復習) コンピュータの仕組みを復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	情報処理のプロセスについて情報サービスを通して学ぶ。	講義・演習	情報サービスが動くまでの流れを説明できる。	(復習) 情報処理のプロセスを復習し、身近な情報サービスを理解する。	90	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	データベースについて身近なデータを使って学ぶ。	講義・演習	データベースができることを説明できる。	(復習) データベースの仕組みを復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
8週 /	インターネットの基本と仕組み、活用法を学ぶ。	講義・演習	インターネットの仕組みを説明できる。	(復習) インターネットの仕組みを復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	ホームページや地図、動画などのデータについて学ぶ。	講義・演習	インターネット上のデータについて説明できる。	(復習) インターネットをデータの観点から見る。	90	主体性 傾聴力 規律性
10週 /	検索エンジンの仕組みと検索結果や広告について学ぶ。	講義・演習	検索エンジンの結果を出す仕組みを説明できる。	(復習) 検索エンジンに関わる現状を復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
11週 /	ビッグデータとソーシャルメディアについての現状を学ぶ。	講義・演習	ビッグデータの種類や利用法を説明できる。	(復習) 身近なビッグデータについて復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	情報モラルやセキュリティについて実例を通して学ぶ。	講義・演習	個人情報やセキュリティについて説明できる。	(復習) 個人情報やセキュリティについて復習する。	90	主体性 傾聴力 規律性
13週 /	小テストを通して、現状の理解度を知る。	小テスト	今までの知識を自分の言葉でまとめることができる。	(予習) 小テストに向けて今までの情報を整理する。	90	創造力 発信力
14週 /	小テストの解説を通して調査について学ぶ。	講義・演習	調査における6つの方法を説明できる。	(復習) 小テストの解説を受け、今後活用できるよう復習する。	120	傾聴力 規律性
15週 /	情報の活用と発信を学び、レポートを作成する。	講義・レポート作成	ポイントを押さえたレポートをまとめることができる。	(復習) 期限までにレポートを完成させて提出する。	90	実行力 課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力